

お客様用

Drink Star

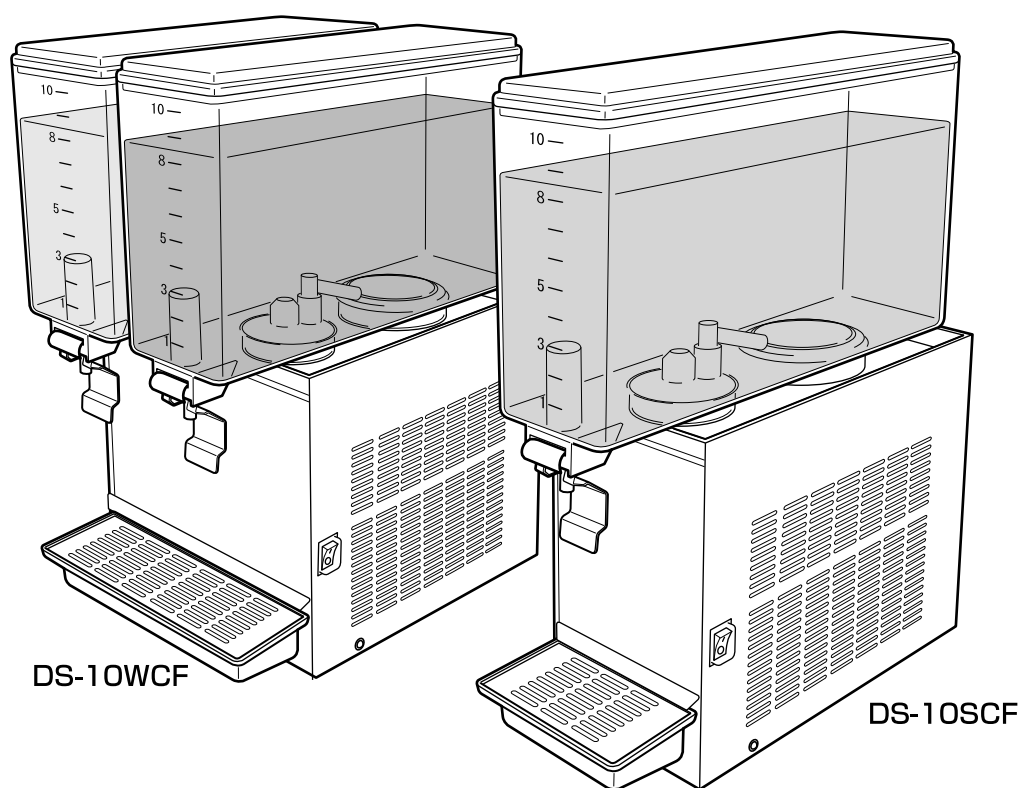
COLD DRINK DISPENSER

取扱説明書

ドリンクスター

型式：DS-10SCF / DS-10WCF

業務用



- このたびは、当社のコールド・ドリンク・ディスペンサー〔ドリンクスター〕をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになられる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。
- 保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。
必ず「お買い上げ日・お買い上げ店名」等の記入をお確かめください。
- 記載の内容は品質向上のため予告なしに変更することがありますので、予めご了承ください。

保証書付

もくじ

本製品をお使いになる前に 1

安全上のご注意	1
●据付け時の警告	2
●操作時の警告	3
●移設・廃棄時の警告	3
●据付け時の注意	4
●操作時の注意	4
●転売や譲渡するときの注意	5
各部の名称とはたらき	6
梱包内容一覧	7
●梱包内容を確認したら	7
据付けについて	8

1 操作のしかた 10

運転をするには	10
飲料を取り出すには	11
運転を停止するには	11

2 お手入れについて 12

毎日のお手入れ	12
●容器と容器内の部品の洗浄	12
●クーリングプレートと天板の清掃	14
●ドレンパンとドレンプレートの洗浄	14
●洗浄後の部品の組み立て	15
汚れが目立つときのお手入れ	18
●本体のお手入れ	18
1ヶ月に1回のお手入れ	19
●エアーフィルターのお手入れ	19
1ヶ月に1回の点検	20
●漏電遮断器の動作確認	20
年に1～2回の点検	20
●アース線の点検	20
●電源プラグの点検	20

修理を依頼する前に 21

仕様 23

商品保証書 25

本製品をお使いになる前に

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

【注意喚起シンボルとシグナル表示の例】

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害※の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

【図記号の例】

 感電注意	△は、注意(警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令(強制)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

本製品をお使いになる前に

1 操作のしかた

2 お手入れについて

修理を依頼する前に

仕様

商品保証書

⚠警告

●据付け時の警告



専門業者

- 据付工事は専門業者に依頼すること
ご自分で据付工事され不備があると、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

- 屋外で使用しないこと
雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

- 湿気の多いところや、水のかかり易い場所に据え付けないこと
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



専用電源

- 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびたこ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

- 電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること
電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になることがあります。



禁止

- 電源コードを傷つけないこと
加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



アース工事

- アース工事を必ずおこなうこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)



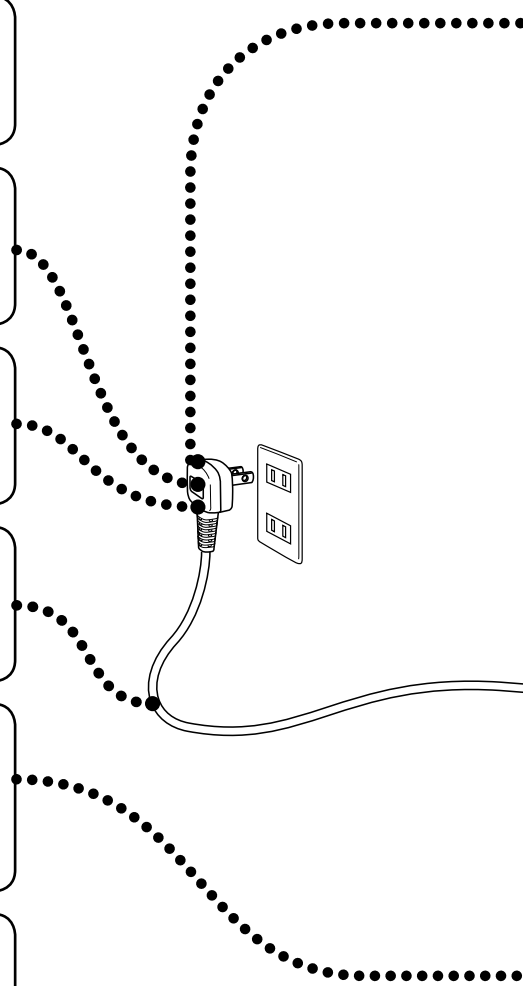
改造禁止

- 改造は絶対におこなわないこと
改造をされますと、液漏れ、感電や火災の原因になります。



分解禁止

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解や修理をおこなわないこと
異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると、感電や火災の原因になります。



●操作時の警告



熱器具禁止

- 熱器具(ガスコンロ)などを乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと
熱でプラスチックが溶けたり、火災の原因になります。



ガス栓閉

- ガス器具などからガスが漏れていたら、本機の使用を中止し、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること
電源プラグを抜いたりしますと、引火爆発し、危険です。



接触禁止

- 機械内部の電気装置や配線に触れないこと
感電の原因になります。



連絡

- 本機を使用中に専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)が『OFF(切)』に作動したときは、お買い上げ店に連絡すること
無理に専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を『ON(入)』にすると、感電や火災の原因になります。



濡手禁止

- 濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと
感電の原因になることがあります。



点検清掃

- 電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

- 異常時は電源スイッチを切って電源プラグを抜くか、本機専用電源を『OFF(切)』にして、すぐにお買い上げ店へ連絡すること
異常のまま運転を続けると、感電、火災の原因になります。



水掛け禁止

- 本体に直接水をかけないこと
ショート、感電、錆、故障の原因となります。

●移設・廃棄時の警告



専門業者

- 移設時は専門業者か、お買い上げ店に相談すること
据え付け不備があると感電、火災などの原因になります。
- 廃棄時は専門業者か、お買い上げ店に依頼すること
放置しますと幼児などがケガをする原因になります。

⚠️ 注意

● 据付け時の注意



水平据付

- 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

● 操作時の注意



開放禁止

- 容器蓋は開けたままにしないこと
ほこりやゴミが入ると雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



入れ過ぎ禁止

- 容器前面の液面表示印「10」より上には飲料を入れないこと
運転中にあふれて周囲を汚す原因になります。



接触禁止

- フォーセットレバーに必要以外、手や物を触れさせないこと
フォーセットノズルより飲料が出っぱなしになり、周囲を汚す原因になります。



禁止

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



プラグを抜く

- 一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱・発火の原因になることがあります。



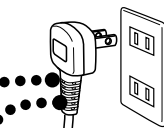
プラグを抜く

- 清掃する時や点検のときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグも抜くこと
感電したりケガの原因になることがあります。



動作確認

- 漏電遮断器は月に1回動作確認をすること
漏電遮断器は故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。





可燃物禁止

- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、近くに可燃物を置かないこと
発火の原因になることがあります。



熱器具禁止

- 熱器具(ガスコンロ)などを乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと
熱でプラスチックが溶けたり、火災の原因になります。



飲料抜き取り

- 閉店後は容器内の飲料(ジュース類)を抜き取ること
抜き取った飲料は、清潔な容器に入れて冷蔵庫で保管してください。
運転を止めてそのままにしておいた飲料は雑菌が繁殖し健康障害の原因になることがあります。



毎日洗浄

- フォーセットノズル、容器、ガスケット、攪拌ポンプ部、クーリングプレートなど飲料に接する部分は、毎日洗浄、清掃すること
洗浄しないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。



洗い流す

- 洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと
飲料の味や香りを悪くし、健康障害の原因になることがあります。



挿入禁止

- 空気の吸込口や吹出口に指や棒などを入れないこと
内部でファンが高速回転しておりますので、ケガの原因になることがあります。



接触禁止

- エアフィルター取付け、取外し時は、凝縮器のフィンに直接手を触れないこと
ケガの原因になることがあります。



ドレンパン

- ドレンパンにたまった飲料などは、あふれるまえに捨てること
あふれると、カウンターや床を汚す原因になります。

● 転売や譲渡するときの注意



テープ止め

- このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡される時には、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ場所にテープ止めすること

各部の名称とはたらき

本機は、飲料(ジュース類)を冷却して展示、販売する機械です。

攪拌ポンプ

容器に入れた飲料を攪拌するためのものです。

液面表示

容器に入れた飲料の量を示します。

フォーセットノズル

フォーセットレバーを押すと、フォーセットノズルから飲料が取り出せます。

フォーセットノズルにはOリングが取り付けられています。Oリングは液漏れ防止のパッキンです。



Oリング

フォーセットレバー

飲料取り出し用のレバーです。

ドレンプレート

カップなどの容器を上に乗せます。

ドレンパン

容器の外表面などに付いた露やこぼれた飲料がたまる部分です。

容器

飲料を入れる部分です。

容器蓋

ほこりよけのための蓋です。

クーリングプレート(冷却器部)

容器に入れた飲料を冷却する部分です。

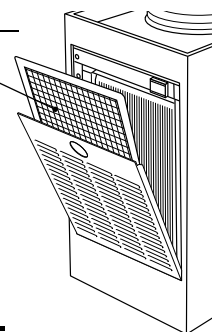
ガスケット

容器とクーリングプレートを密着させるものです。

エアフィルター

本体背面にあります。チリやほこりを機械室に吸い込まないようにするフィルターです。

エアフィルター



機械室カバー

この中には、冷凍機や電気装置が入っています。

電源スイッチ

機械を運転および停止をさせるためのスイッチです。

アース用端子

アース線を取り付けます。

足

底面に4個あります。

電源コード

電源プラグ

※ DS-10SCFとDS-10WCFは、共通な部品を使用しています。
上図はDS-10SCFで説明しています。

梱包内容一覧

パッケージには、次のものが入っています。足りない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

内容物	DS-10SCF	DS-10WCF
本体	1個	
容器	1個	2個
容器蓋	1個	2個
フォーセットノズル(フォーセットノズルOリング取り付け済み)	1個	2個
予備用フォーセットノズルOリング	1個	2個
フォーセットレバー	1個	2個
攪拌ポンプ	1セット	2セット
ドレンパン(ドレンプレート取り付け済み)	1個	
ガasket	1個	2個
フォーセット洗浄ブラシ	1本	
取扱説明書(本書、保証書付)	1冊	

本製品をお使いになる前に

● 梱包内容を確認したら

据付け場所を確認してください

本機を据え付ける場所を確認してください。

据付け時の警告と注意については、「安全上のご注意」(1ページ)を参照してください。

本機を洗浄してください

本機を組み立てる前に、容器やフォーセットノズル、攪拌ポンプなどを洗浄してください。

洗浄方法については、「毎日のお手入れ」(12ページ)を参照してください。

本機を組み立ててください

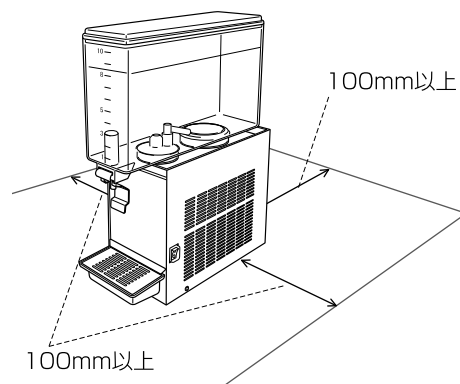
洗浄後、本機を組み立ててください。

組み立て方法については、「● 洗浄後の部品の組み立て」(15ページ)を参照してください。

据付けについて

- 作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください。

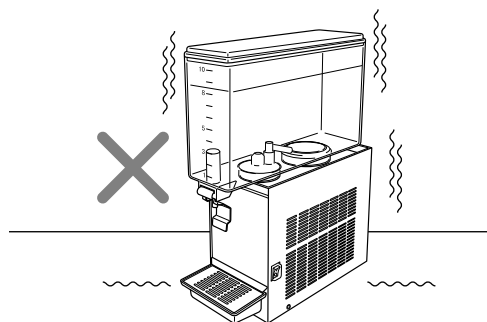
本機のまわりは100mm以上空けておいてください。



- 丈夫で平らな場所に水平になるように据え付けてください。

据付けに不備があると、転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。

- 振動のない場所へ据え付けてください。

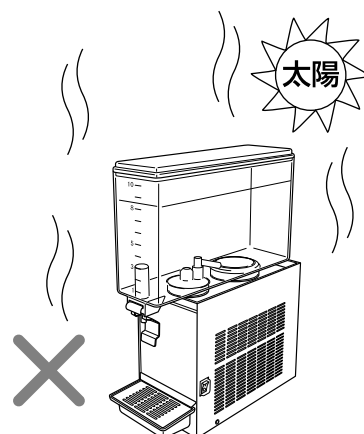


- 凍結の恐れのある場所へは据え付けしないでください。

周囲温度が0℃以下になるような場所には据え付けしないでください。飲料が凍結して容器の破損の原因になります。

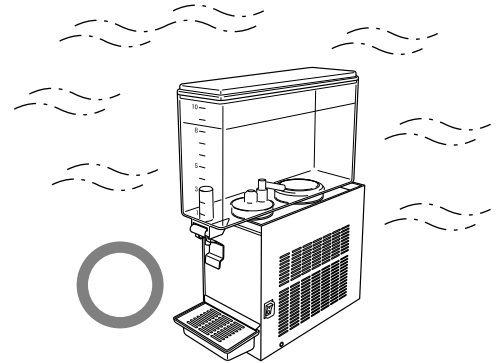
- 直射日光のあたるところや、周囲温度が32℃を超える高温の場所には据え付けしないでください。

容器などが変形・色あせしたり、冷えが悪くなります。



● 風通しの良い場所に据え付けてください。

風通しが悪いと、熱気がこもり、本機の寿命を短くしたり漏電の原因となります。



● 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用してください。

● 本機は、コンセントに電源コードを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください。(電源コードの長さ：1.8m)

● 水のかからないところに据え付けてください。

本体と電源コードに水が掛かりますと、漏電、感電の原因になります。

● アース工事を必ずおこなってください。

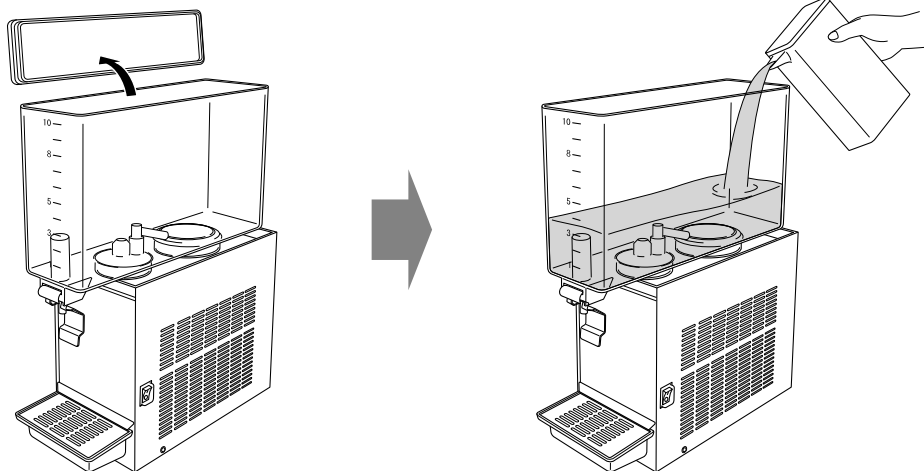
アースは電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。ガス管、水道管、電話のアース線、避雷針などには危険ですから絶対にアース線を接続しないでください。



1 操作のしかた

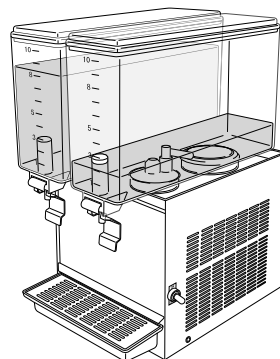
運転をするには

- 1** 容器蓋を開け、飲料(ジュース類)を容器に入れてください。



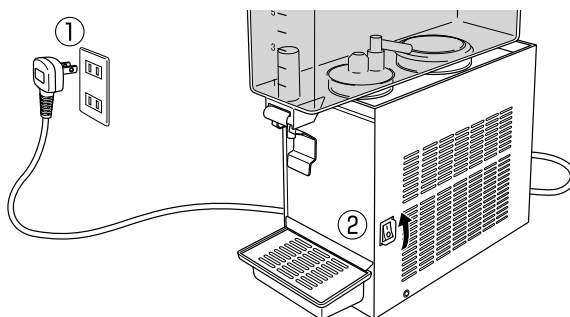
お願い

- ・10L以上は入れないでください。
- ・DS-10WCFをお使いの場合は、片方の容器しか使わない場合でも、もう片方の容器には水を入れて、左右の容器の飲料は、できるだけ等量になるようにしてください。片方が空になったり、極端に少なくなると、飲料が凍る恐れがあります。
- ・容器には飲料(ジュース類)以外のものは入れないでください。容器や攪拌ポンプの破損、機械の故障の原因になることがあります。
- ・粘度の高い飲料や、粒入りジュースは使用しないでください。うまく攪拌されず、均一に冷えません。またフォーセットノズルが詰まったり、飲料が漏れたりします。
- ・乳製品を使用される場合は、地元の保健所に相談し、指導を受けてください。
- ・容器に30℃以上の熱い飲料(コーヒー、麦茶など)を入れないでください。機械が故障する可能性がありますので、冷ましてから入れてください。



- 2** 容器蓋を閉めてください。

- 3** 電源プラグを専用コンセントに差し込み(①)、電源をON(I)にしてください(②)。
飲料の冷却を開始します。

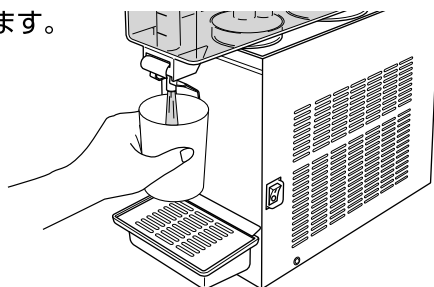


- 4** 飲料が冷えるのを待ってください。
(冷却能力は仕様欄をご参照ください。)

飲料を取り出すには

1 コップを持ち、フォーセットレバーを押してください。

飲料がコップに注がれます。



メモ



フォーセットレバーを押すと、フォーセットノズルが上がり、容器内の飲料が出てくる仕組みです。

飲料が少なくなったら…。

容器蓋を開け、飲料を継ぎ足してください。

お願い

容器の飲料が残り1Lになる前に継ぎ足してください。1L未満になると、容器内の飲料が凍る可能性があります。

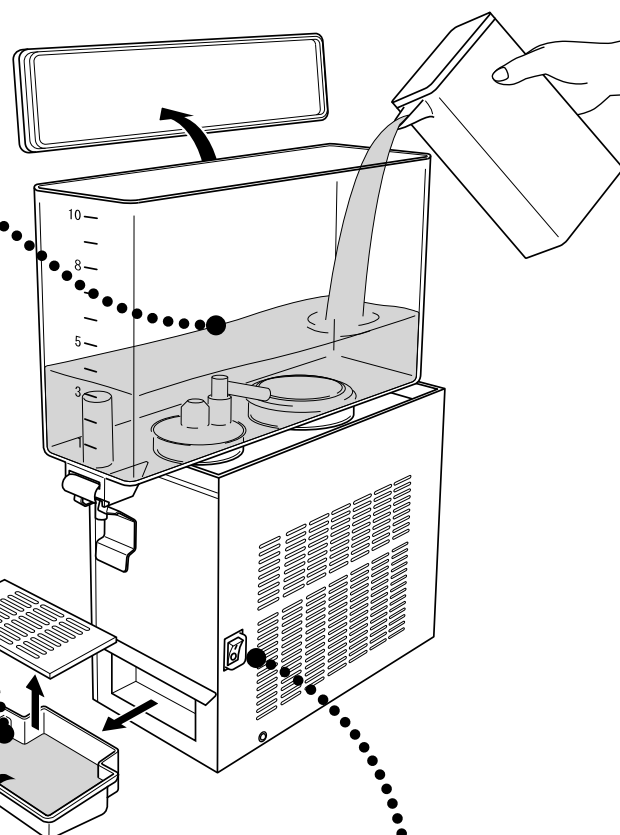
飲料などがたまったら…。

ドレンパン内の飲料などがたまったら、ドレンパンを取り出し、捨ててください。

△注意



ドレンパンにたまった飲料などは、あふれる前に捨ててください。ドレンパンからあふれると、カウンターや床を汚す原因になります。

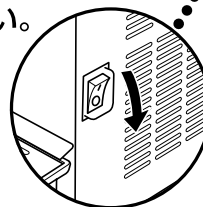


運転を停止するには

1 運転を停止するときは、電源スイッチをOFF(O)にしてください。

お願い

運転を停止してすぐに運転を再開すると、冷凍機に負担がかかり、故障の原因になります。必ず3分以上時間をおいてください。





2 お手入れについて

毎日のお手入れ

警告



本体に直接水をかけないでください。
ショート、感電、錆、故障の原因になります。

お願い

- ・洗浄後、保管される場合は、各部品を十分乾燥させてアルコール除菌剤をスプレーしてください。
- ・次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水は、部品の劣化、および変質の原因になりますので使用しないでください。

メモ

- ・本機のお手入れには、下記のものをご使用ください。
 - ・除菌洗浄剤 …… 無泡性で、厨房設備および調理器具用のもの。
 - ・アルコール除菌剤 …… 厨房設備および調理器具用のもの。
 ※上記のものは、弊社(エフ・エム・アイ)でも取り扱っていますので、入手が困難な場合は、弊社にご注文ください。
- ・乳成分を含む飲料を使用した際は、乳脂肪専用の洗浄剤をご使用ください。
弊社では、乳脂肪専用の洗浄剤「ミルククリーン」を取扱っています。

● 容器と容器内の部品の洗浄

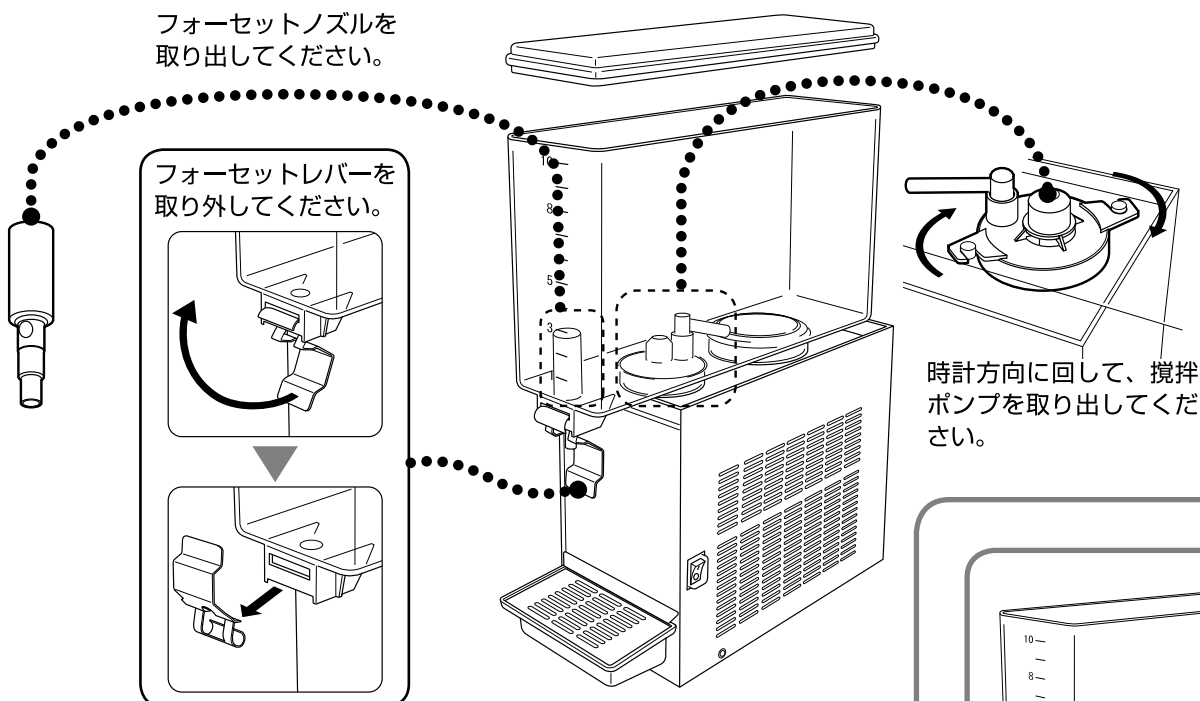
容器、容器蓋、攪拌ポンプ、フォーセットノズル、フォーセットレバー、ガスケットを洗浄します。

1

フォーセットレバーを押し、容器内の飲料をすべて取り出してください。

2

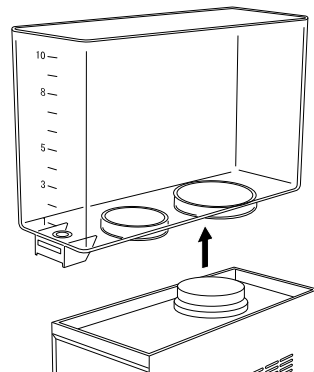
容器蓋を開け、フォーセットノズル、フォーセットレバー、攪拌ポンプを取り出してください。



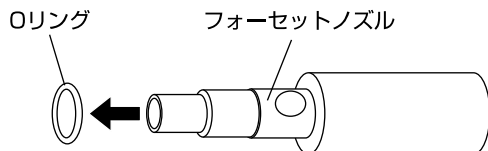
3

本体から容器とガスケットを取り外してください。

- ① 本体から容器を取り外してください。
- ② 本体からガスケットを取り外してください。



4 フォーセットノズルからOリングを抜き取ってください。



お願い

- ・Oリングは傷がつきやすいので、抜き取りには鋭利な器具を使用しないでください。
- ・Oリングを失くさないようにしてください。

5 容器、容器蓋、ガスケットを洗浄してください。

容器、容器蓋、ガスケットを除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で洗浄し、洗浄成分が残らないように十分にすすいでください。

お願い

ガスケットは洗浄の際、ツメなどで傷を付けないよう注意してください。傷がつきますと液漏れの原因になります。

6 フォーセットノズル、Oリング、フォーセットレバーを洗浄してください。

フォーセットノズル、Oリング、フォーセットレバーを除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で洗浄し、十分に水洗いして洗剤成分をよく落としてください。フォーセットノズルと、フォーセットレバーは、付属のフォーセット洗浄ブラシを使用してください。

お願い

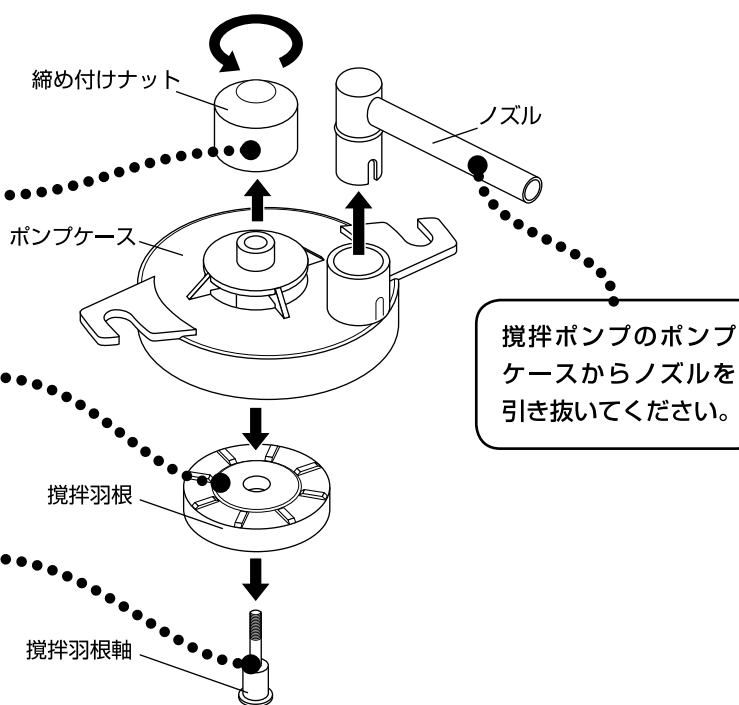
Oリングはブラシで洗浄しないでください。

7 攪拌ポンプを分解してください。

① 締め付けナットを反時計方向に回して取り外してください。

② ポンプケース裏側から攪拌羽根を取り外してください。

③ 攪拌羽根から、攪拌羽根軸を引き抜いてください。



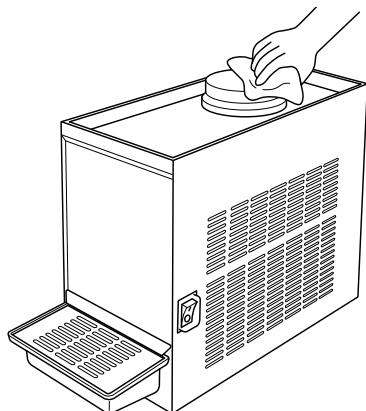
攪拌ポンプのポンプケースからノズルを引き抜いてください。

8 手順7で分解した攪拌ポンプの部品を洗浄してください。

ノズル、締め付けナット、ポンプケース、攪拌羽根、攪拌羽根軸を除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で洗浄し、十分に水洗いして洗剤成分をよく落としてください。
ポンプケース、ノズルは、付属のフォーセット洗浄ブラシを使って洗浄してください。

●クーリングプレートと天板の清掃

1 クーリングプレートと天板を拭いてください。

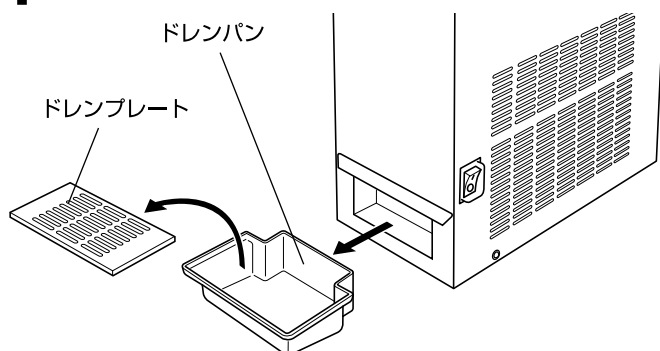


- ・除菌洗剤を入れて溶かした水で絞ったきれいな布で、クーリングプレートと天板の汚れを拭いてください。
- ・汚れを拭き取った後は、水を含ませた布で2～3回きれいに拭き、洗剤成分を完全に拭き取ってください。

2 クーリングプレートと天板にアルコール除菌剤をスプレーして除菌してください。

●ドレンパンとドレンプレートの洗浄

1 ドレンパンを取り外してください。



- ・ドレンパンを本体から取り外してください。
- ・ドレンプレートをドレンパンから取り外してください。

2 ドレンパン内のこぼれた飲料を捨ててください。

3 ドレンパンとドレンプレートを食器用中性洗剤を使って洗ってください。

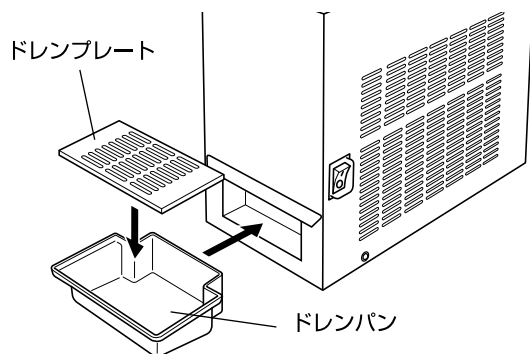
洗浄後は、洗剤成分が残らないように十分にすすいでください。

これで、容器や攪拌ポンプ、フォーセットノズルやクーリングプレートなどの洗浄・清掃ができました。洗浄後は各部品を組み立ててください。

●洗淨後の部品の組み立て

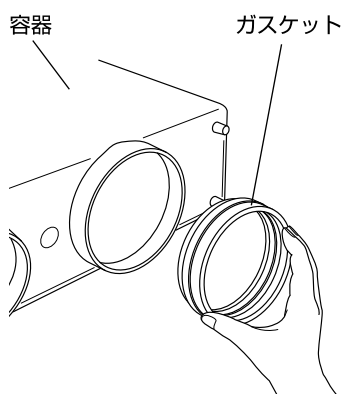
洗淨後は各部品を組み立ててください。

1 ドレンパンを取り付けてください。



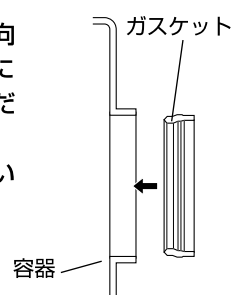
- ・ドレンプレートをドレンパンに取り付けてください。
- ・ドレンパンを本体に差し込んでください。

2 容器底にガスケット(パッキン)を取り付けてください。

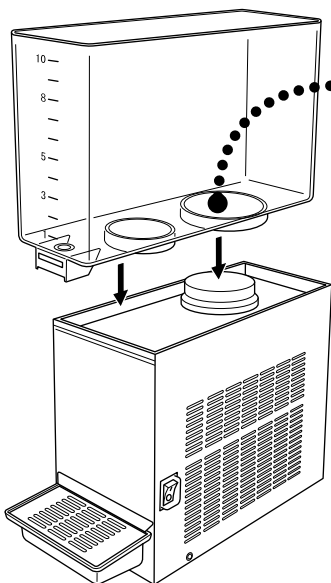


メモ

- ・ガスケット(パッキン)の取り付け方向(細くくびれている側が容器側です)に気をつけて、容器底に取り付けてください。
- ・ガスケットの取り付け方が正しくない場合は、液漏れの原因になります。



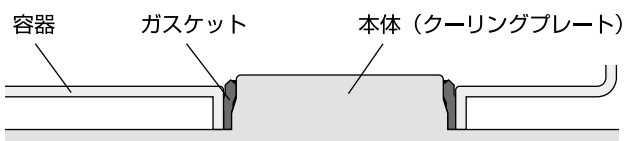
3 容器を本体に取り付けてください。



本体上面のクーリングプレートに対して、容器に取り付けたガスケット(パッキン)がはまるように取り付けます。本体上面と平行になるように取り付けてください。

メモ

- ・あらかじめガスケット(パッキン)の内側を少し水で濡らしておくと、スムーズに取り付けられます。
- ・クーリングプレートの上面が出るまで、容器を取り付けてください。



4 ポンプケースを組み立ててください。

攪拌羽根と攪拌羽根軸の取り付け

ポンプケース

攪拌羽根

攪拌羽根軸

ポンプケース裏の穴部の半円形の形状と、攪拌羽根軸の形状とが合うように差し込んでください。

攪拌羽根は、羽根の付いている面が上になるようにしてください。

攪拌羽根軸の固定とノズルの取り付け

締め付けナット

ポンプケース

締め付けナットを時計方向に回して攪拌羽根軸を固定してください。

ノズルをポンプケースに取り付けてください。

ポンプケース穴の凸部とノズルの凹部が合うようにしっかりと差し込んでください。

5 容器内に攪拌ポンプを入れ、容器底(穴の開いていない側の凹部)に攪拌ポンプを固定してください。

ノズル

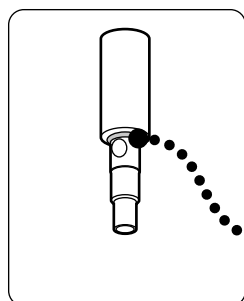
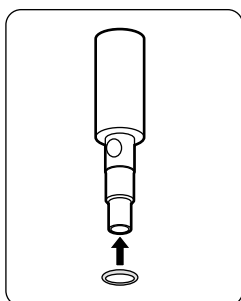
攪拌ポンプを反時計方向に回し、容器の突起に、ポンプケースの切り欠きをはまるようにしてください。

ポンプケースの切り欠き

容器の突起

ノズルの口は、必ずクーリングプレートに向くようにセットしてください。

6 フォーセットノズルにOリングを根元まではめ込んでください。

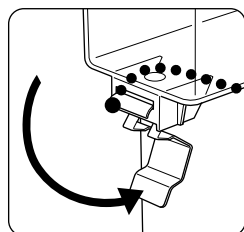
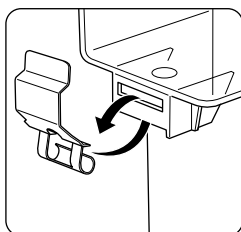


お願い

Oリングは傷がつきやすいので、抜き取りには鋭利な器具を使用しないでください。

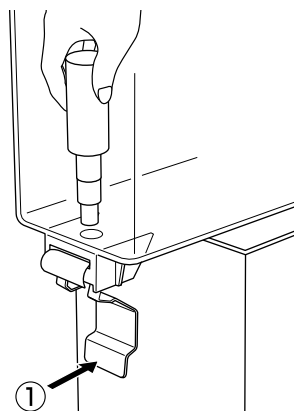
Oリングは、フォーセットノズルの根元までしっかりとめ込んでください。根元までしっかりとめ込まれていない場合、液漏れの原因になります。

7 フォーセットレバーを、容器に引っ掛けてください。



この部分を奥から手前側へひっかけます。

8 フォーセットノズルを取り付けてください。

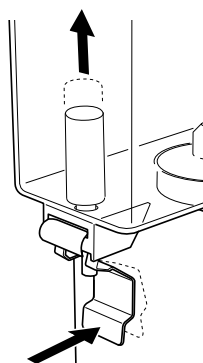


フォーセットレバーの下側を押しながら①、フォーセットノズルを容器の内側から、フォーセットノズルの穴に差し込んでください。

お願い

フォーセットノズルは静かに差し込んでください。手を放して落とすようにしたりしないでください。容器の穴部に傷が付きますと、液漏れを起こします。

9 取り付けの確認をしてください。



フォーセットレバーを数回押して、フォーセットノズルがスムーズに上下するか確認してください。

容器蓋を容器に取り付けてください。

汚れが目立つときのお手入れ

●本体のお手入れ

1 柔らかい布で本体を拭いてください。

⚠注意



本体に直接水をかけないでください。ショート、感電、錆、故障の原因になります。

メモ

本体外装はステンレス製ですが、お手入れを怠ると錆びる場合があります。

2 汚れがひどいときは、中性洗剤を入れたぬるま湯で拭いたあと、洗剤成分が残らないように水で拭き取ってください。

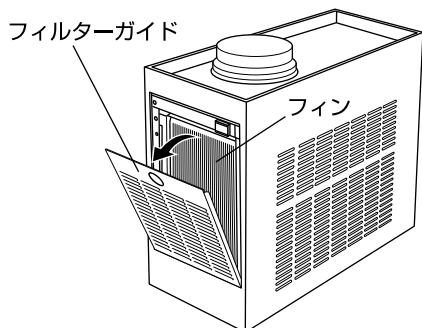
1ヶ月に1回のお手入れ

●エアークフィルターのお手入れ

お願い

必ず、週に一度エアークフィルターのお手入れをおこなってください。
エアークフィルターにゴミやほこりがたまると、正常な運転ができなくなり故障の原因となります。

1 本体背面のフィルターガイドを開けてください。



フィルターガイドの穴に指をひっかけて引いてください。

△ 注意



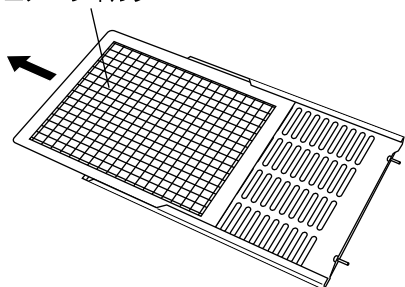
エアークフィルターを洗浄するため取り外す際、凝縮器のフィンに直接手を触れないでください。

接触禁止

ケガの原因になることがあります。

2 エアークフィルターを取り出してください。

エアークフィルター



3 中性洗剤を入れたぬるま湯でネットを破らないように注意して洗ってください。

中性洗剤を使ったときは、洗剤成分が残らないように十分すすいでください。

4 洗った後は、日陰で十分乾かしてください。

5 乾燥後は、元通り取り付けてください。

お願い

フィルターガイドを外したまま運転しないでください。
故障の原因となります。

1 ヶ月に 1 回の点検

●漏電遮断器の動作確認

⚠ 注意



1 ヶ月に 1 度は漏電遮断器の動作確認をおこなってください。漏電遮断器を故障したまま使用すると、漏電のときに動作せず、感電の原因となります。

1

漏電遮断器のテストボタンを指先で押してください。

2

『OFF(切)』に切り換われば正常に動作しています。

お願い

レバーが『OFF(切)』に切り換わらないときは、漏電遮断器が故障しています。すぐに電気工事業者へご連絡ください。

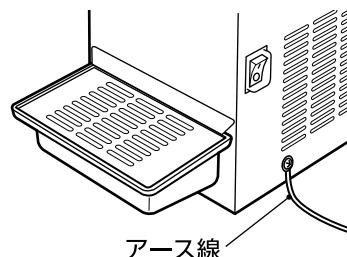
3

3分間待ってから、『ON(入)』にしてください。

年に 1 ～ 2 回の点検

●アース線の点検

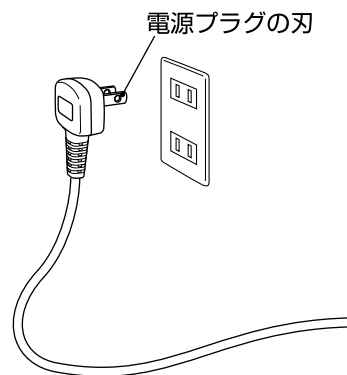
アース線が切れたり接続部が緩んでいませんか？
異常の場合は電気工事業者に修理を依頼してください。



●電源プラグの点検

次の項目を点検してください。

- 電源プラグが、専用のコンセントに入っていますか？
他の機器との共用を中止し、専用のコンセントを用意してください。
- 電源プラグや電源コードに異常な発熱や破損、重いものが乗ったり、挟み込まれていませんか？
異常な発熱や破損がある場合は、すぐにお買い上げ店へ修理を依頼してください。
- 電源プラグの刃と刃の取り付け面およびコンセントにほこりがついていませんか？
ほこりがついている場合は、電源プラグを抜いて清掃して取り払ってください。



修理を依頼する前に

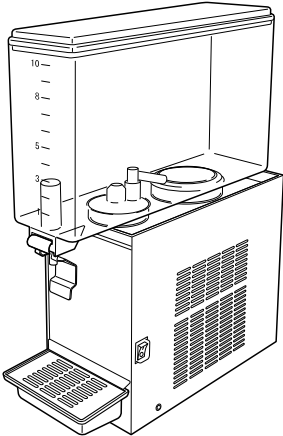
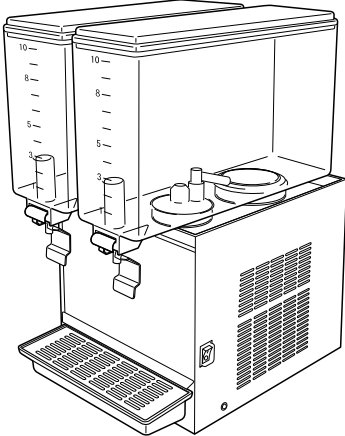
故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。
症状が改善されないときや、「処置の方法」の欄に「お買い上げ店にご連絡ください。」の症状の場合は、本機の電源を切り、早急にお買い上げ店までご連絡ください。

※ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

症状	確認すること(または原因)	処置の方法
まったく冷えない	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	電源プラグが抜けていませんか？	抜けているときは、コンセントに差し込んでください。
	漏電遮断器のレバーの位置が『OFF(切)』になっていませんか？	漏電遮断器が『OFF(切)』に作動した場合には、お買い上げ店に連絡してください。レバーが『OFF(切)』になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを『ON(入)』にすると、感電や火災の原因になります。
よく冷えない	周囲温度が32℃を超えていませんか？	換気扇などで換気して、周囲温度を下げてください。
	外部から熱気の影響を受けていませんか？	熱源を遠ざけてください。
	本機の周囲に物を置いて風通しが悪くなっていませんか？	物を取り除いてください。
	エアフィルターにゴミが詰まっていますか？	エアフィルターを洗浄してください。
	熱い飲料が入っていませんか？	冷ましてから入れてください。
	日光の直射を受けていませんか？	直射日光の当たらない場所に移設してください。
	運転中に電源スイッチを「OFF(O)」「ON(I)」にしませんでしたか？	しばらく様子を見てください。
	攪拌ポンプの取り付け方向が前後逆向きになっていませんか？	ノズルがクーリングプレートに向くように攪拌ポンプを取り付けなおしてください。
異常音がる	運転中は運転音の他にコンプレッサーの起動、停止時に動作音がします。これは異常ではありません。	
	丈夫な床の上に設置していますか？	弱い場合はお買い上げ店へご連絡ください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	攪拌ポンプ部から異常音がしていませんか？	容器を正しくはめ込んでください。

修理を依頼する前に

症状	確認すること(または原因)	処置の方法
容器のはめ込み部から飲料が漏れる	ガスケットのはめ込みが悪くありませんか？	ガスケットを容器にきっちりはめ込んでください。
	容器のはめ込みが悪くありませんか？	容器をクーリングプレートに正しくはめ込んでください。
	ガスケットが損傷していませんか？	損傷していれば交換してください。
フォーセット部から飲料が漏れる	フォーセットノズルのOリングを付け忘れていませんか？	Oリングをフォーセットノズルにはめ込んでください。
	フォーセット部の組み立て方が悪くありませんか？	正しく組み立てなおしてください。
	フォーセットノズルに異物が詰まっていますか？	異物を取り除いてください。
	フォーセットノズルのOリングが損傷していませんか？	損傷していれば交換してください。
	容器のフォーセットノズル差し込み穴部に傷がついていませんか？	傷がついていれば、容器の交換が必要です。
	粒入りジュースを使用していませんか？	粒入りジュースは使用できません。
攪拌されない	電源スイッチを入れ忘れていませんか？	電源スイッチを入れてください。
	攪拌ポンプの装着を忘れていませんか？	攪拌ポンプを装着してください。
飲料が凍る	飲料が少なすぎではありませんか？	飲料が少なくなると飲料が凍る恐れがあります。1L以下になる前に飲料をつぎ足してください。
	片方の容器だけ飲料を入れていませんか？	DS-10WCFをお使いの場合、片方の容器だけを使用する場合でも、飲料を入れない側の容器に3L程度の水を入れてください。片方の容器を空にすると、冷却能力が低下します。
	左右両方の容器に飲料を入れていますか？	DS-10WCFをお使いの場合、両方の容器の飲料の量はできるだけ等量になるようにしてください。片方が極端に少なくなると、飲料が凍る恐れがあります。

品名	コールド・ドリンク・ディスペンサー【ドリンクスター】	
型式	DS-10SCF(1連式)	DS-10WCF(2連式)
製品(外観図)		
外形寸法	幅205mm 奥行き442mm 高さ580mm (突起物を含む幅210mm)	幅252mm 奥行き440mm 高さ580mm (突起物を含む幅257mm)
電源	100V 50/60Hz	
電流	2.1A	3.4A
消費電力	180W	290W
容器容量	10L	10L+10L
温度調節	サーモスタット式	
冷却温度	3℃～7℃	
冷却能力	室温30℃ 容量10L 飲料温度 25℃→4℃到達 約160分	室温30℃ 容量10L+10L 飲料温度 25℃→4℃到達 約160分
冷媒	R-134a (60g)	R-134a (90g)
攪拌方式	攪拌ポンプによる噴射式	
圧縮機	100V 50/60Hz	
フォーセット	ウエイト式 ワンタッチ方式	
電源コード	長さ：1.8m	
材質	本体：ステンレス 容器：ポリカーボネイト	
付属品	フォーセット洗浄ブラシ・・・1本 Oリング・・・1個	フォーセット洗浄ブラシ・・・1本 Oリング・・・2個
質量	15kg	24.5kg

※上記の仕様は品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

修理を依頼する前に

仕様

メモ

[illegible]

エフ・エム・アイ 商品保証書

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買上げ店にご相談ください。

●保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。
その期間は、1年間有効とし、機器本体を対象とします。

●保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買上げ店が「無料修理」いたします。
- 無料修理を受ける場合は、お買上げ店にご依頼のうえ、出張修理に際しまして本書をご提示ください。
- 保証期間内でも次の場合には「有料修理」となります。
 - ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
 - 車輛、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
 - お買上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 指定外の使用電源(電圧、周波数)の使用による故障および損傷。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 消耗部品(フォーセット洗浄ブラシ、パッキン、Oリング)は、保証の対象範囲から除外させていただきます。

※この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店にお問い合わせください。

●修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)

当社では、本製品の修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)を販売打ち切り後8年とさせていただいております。修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)を終了している場合は、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

品名		コールド・ドリンク・ディスペンサー [ドリンクスター]		
型式		☐ DS-10SCF ☐ DS-10WCF	製造番号	
お客様	ご芳名	様		
	ご住所	〒 TEL. ()		
お買上げ店	店名・住所			
お買上げ日		年 月 日	無料修理保証期間	お買上げ日より1年間

株式会社エフ・エム・アイ

東 京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大 阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営 業 所 札 幌：〒003-0002 札幌市白石区札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙 台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広 島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福 岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出 張 所 北 陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖 縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛 岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション四 国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

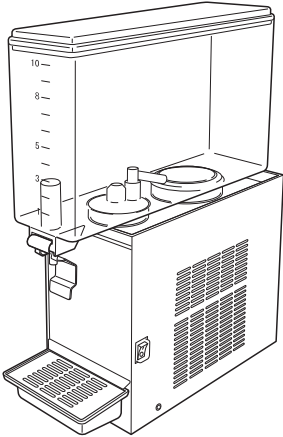
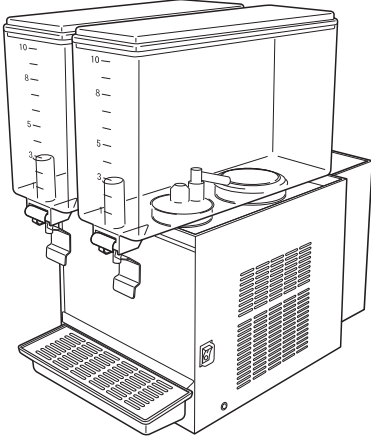
鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

本機の一部仕様変更のお知らせ

機械内部の熱をより排出しやすくするため本機の後側に、付属の排気筒を取付けます。
本機に排気筒を取り付けかたについては、付属の「排気筒取付けのお願い」をお読みください。
本機に排気筒を取り付けた際、取扱説明書23ページの仕様に記載しています奥行寸法と、質量が変わります。

品名	コールド・ドリンク・ディスペンサー【ドリンクスター】	
型式	DS-10SCF(1連式)	DS-10WCF(2連式)
製品(外観図)		
外形寸法	幅205mm 奥行き442mm 高さ580mm (突起物を含む幅210mm)	幅252mm 奥行き528mm 高さ580mm (突起物を含む幅257mm)
電源	100V 50/60Hz	
電流	2.1A	3.4A
消費電力	180W	290W
容器容量	10L	10L+10L
温度調節	サーモスタット式	
冷却温度	3℃～7℃	
冷却能力	室温30℃ 容量10L 飲料温度 25℃→4℃到達 約160分	室温30℃ 容量10L+10L 飲料温度 25℃→4℃到達 約160分
冷媒	R-134a (60g)	R-134a (90g)
攪拌方式	攪拌ポンプによる噴射式	
圧縮機	100V 50/60Hz	
フォーセット	ウエイト式 ワンタッチ方式	
電源コード	長さ：1.8m	
材質	本体：ステンレス 容器：ポリカーボネイト	
付属品	フォーセット洗浄ブラシ・・・1本 Oリング・・・1個	フォーセット洗浄ブラシ・・・1本 Oリング・・・2個
質量	15kg	<u>25.2kg</u>